

## 地方公共団体による舗装データベース（本体）への登録準備

地方公共団体のデータを舗装データベース本体に登録するには、事前に路線や区間のコードのほか各区間の緯度経度情報といったマスターデータを舗装データベースシステムに登録する必要があります。

そのため提出が必要となるデータを以下に示します。データを提出いただいたのち 2 週間～1 ヶ月程度の作業期間を経てマスターデータの作成・格納が完了し、舗装 DB への入力可能な状態になれば管理者よりお知らせします。

### (1) 管理路線・区間のコード化

- 舗装 DB では、データ登録時に路線番号や枝番等が正しいかどうかチェックしています。チェックの元テーブルとなる路線番号、路線枝番のコード表の案を、**地方公共団体用舗装データベースの登録データをもとに**作成します。
- **問合せ窓口に連絡いただければ、コード表の案を作成します。**舗装 DB の管理者までご相談ください。

表 1 路線・枝番リスト

項目	路線番号	現旧区分	路線枝番	説明文
仕様	4桁の英数字	1:現道,2:旧道,3:新道	3桁の英数字	自由文記述
記入例	0070	1	001	県道 70 号〇〇〇線 (〇〇市区間)
	0070	1	002	県道 70 号〇〇〇線 (▽△町区間)

## (2) 地図表示の準備

点検結果等を地図表示するには、路線番号（枝番）、距離標 KP ごとの緯度経度情報が必要となります。リストまたは GIS ファイルのいずれかの方法で提出ください。

### 1) 対象区間リスト

- KP の位置座標・属性のリストを提供ください。リストへの記載項目は次頁の表のとおりです。
- 路線や枝番の起点・終点および属性（出張所、分類、車線数）の変化点は必ず記載してください。
- その他の中間点の間隔は任意ですが、既知点の間は直線補間により区間区分するため、間隔が大きい曲線部では実際の道路の位置から離れてしまいます（右図参考例）。
- データ項目についても、表左側「必須」欄に○のついていないものは任意入力です。

表 2 対象区間リストの項目

必須	項目	記入内容
○	道路種別	3:一般国道（指定区間外）、4:都道府県道、5:市町村道
○	管理区分	2:都道府県、3:道路公社、4:政令市、5:市町村・特別区
	出張所等名称	出張所等の管理区分を DB に登録したい場合に名称を記入
○	路線番号・路線名	路線番号や路線名を記入 ※いただいた情報をもとに DB 管理者が改めて付番します
	現旧区分	1:現道、2:新道、3:旧道 ※記載なき場合”1 現道”とみなす
	上下区分	1 上り、2 下り、3 上下 ※記載なき場合”3 上下”とみなす
	路線枝番	同じ路線番号や路線名に対して複数の区間（現旧道、枝線、ブロック区分等）がある場合、これを特定する番号や文字列を記入 ※いただいた情報をもとに DB 管理者が改めて付番します
○	KP	KP の値（起点からの延長）を km 単位で記入
○	緯度	各 KP の緯度経度座標を記入 （道路中心線上の座標を基本）
○	経度	
○	分類	1:A、2:B
	車線数	当該 KP における車線数（片側）がわかれば記入
	注意事項	上下で車線数が異なる、上下別線、一方通行路等、マスタテーブル作成にあたり注意を要する事項がある場合に記入

## 2) GIS 線形ファイル

- 管理区間の線形ファイル (shape 等の GIS ファイル) を提出ください。線形には以下の属性を付与してください。またこれら属性の変化点ごとに線形を区分してください。

表 3 GIS 線形ファイルの属性項目

必須	項目	属性情報
○	道路種別	3:一般国道 (指定区間外)、4:都道府県道、5:市町村道
○	管理区分	2:都道府県、3:道路公社、4:政令市、5:市町村・特別区
	出張所等名称	出張所等の管理区分を DB に登録したい場合に名称を記入
○	路線番号・路線名	路線番号や路線名を記入
	現旧区分	1:現道、2:新道、3:旧道 ※記載なき場合”1 現道”とみなす
	上下区分	1 上り、2 下り、3 上下 ※記載なき場合”3 上下”とみなす
	路線枝番	同じ路線番号や路線名に対して複数の区間 (現旧道、枝線、ブロック区分等) がある場合、これを特定する番号や文字列を記入いただいた情報をもとに DB 管理者が改めて付番します
○	起終点	各線形には方向 (起終点) 属性を持ち、方向がわかるようにする
○	起点 KP	線形の起点位置の KP 値
○	分類	1:A、2:B
	車線数	区間を代表する地点における車線数を記入 ※上下区分が 1、2 の場合：片方向の車線数を記入 上下区分が 3 の場合：上下合計の車線数を記入
	注意事項	上下で車線数が異なる、上下別線、一方通行路等、マスタテーブル作成にあたり注意を要する事項がある場合に記入

- 提供いただいた既知点リストあるいは線形データをもとに、DB 管理者は登録区間リストとなる「記録単位区間マスタ」を作成し、データベースシステムに格納します。
- 舗装データベースに登録するデータは全て、路線番号や起終点 KP 等の属性をキーにこのマスタに関連付けられます。